

【現場除雪事例：H13 福島県 12】

除雪工夫分類	A1:事前計画・調整 / A3:除雪範囲の明示 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	国道改築工事
施工場所	福島県国道294号 郡山市湘南町赤津地内
工期	平成13年10月15日～平成15年9月30日
使用機材 / 機械	0.7m <sup>3</sup> バックホウ コマツ、0.25m <sup>3</sup> バックホウ 日立 EX60-5、3t ブルドーザー コマツ D31P
現場除雪の工夫・留意点等	<p>除雪作業チームを編成する（有資格者より選定）。工法、手順を決定する（指揮者を指名し、全員で手順を打合せし確認する）。使用する機械を点検する。路面状況を確認する（自分の目、足で確認）。各設備及び架空線の位置を確認する（自分の目及び図面等で位置を確認）。決められた機械にて監視員の誘導の元、除雪する。各設備付近及び架空線付近では、必ず監視員を配置する。巡回時は周囲の安全を確認する。架空線近接防護の方法として、鋼材によるゲートの設置、垂れ幕注意明示、チューブライト、回転灯による明示等を行った。</p>



架空線防護設備及び除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 3】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道40号名寄市共和第1こ道橋工事
施工場所	北海道名寄市字内淵
工期	平成13年7月14日～平成14年2月27日
使用機材/機械	タイヤショベル 1.2、バックホウ 0.7m3
現場除雪の工夫・留意点等	冬期前に、現地を調査し、除雪ルートの特避所・路肩明示の計画をし、B F及びT Sの除雪区間の区分をした。



【現場除雪事例：H13 北海道 41】

除雪工夫分類	C1:作業員の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	道路工事
工事名称	羽幌道路維持事業所管内 道路施設補修外一連工事
施工場所	北海道初山別村～羽幌町～苫前町
工期	平成 13 年 7 月 14 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	スコップ、雪かき / ブルドーザー 3t、バックホウ 0.2m <sup>3</sup> 級、バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 級、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	作業区域が一部車道にあり、片側交互通行で行い、一般車両との接触事故が起きないように注意して行った。仮設道路及び作業箇所は、資材搬入、作業開始時間に影響のないように除雪時間等の打合せを行った。除雪中の作業区域を最少にするために、必要ぎりぎりの機械を選定した。（片側交互等）障害物、構造物付近に目印（棒など）立て、作業においては人力による。



【現場除雪事例：H13 北海道 48】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 北竜町 奥美葉牛改良工事
施工場所	北海道雨竜郡北竜町美葉牛152番地
工期	平成13年5月31日～平成14年3月12日
使用機材 / 機械	排雪スコップ / タイヤショベル古河 FL305、ブルドーザー小松 D60P、油圧・バックホウ 0.小松 PC120、油圧バックホウ 0.7m3 級小松 PC200
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事用道路等の除雪経路及び範囲に於いてはポールあるいは見出し杭を立てて目印として行った。積雪が多くなっても運転手が分かる様に。工事用道路については、タイヤショベルで除雪し、広い範囲のヤードでは、D60P ブルドーザで、施工中の護岸工事等の掘削開口部内では、油圧バックホウと人力の両方で、そして防護囲いの屋根においては、人力のみで除雪する様にして、各場所に応じた方法（機械）で実施している。</p>



防寒仮囲いの屋根除雪



【現場除雪事例：H13 北海道 62】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C1:作業員の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号 鹿追町 紅葉道路改良工事
施工場所	北海道河東郡鹿追町
工期	平成13年12月6日～平成14年3月28日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.45m <sup>3</sup> 、タイヤショベル 2.0m <sup>3</sup> 、ダンプ 10t
現場除雪の工夫・留意点等	既設公共施設を損傷しないように位置等を調査し、又積雪により見えなくなるものには、見出しを立て、降雪時にも位置確認出来る様にし、降雪時には、機械と人力の併用の作業を行った。又、取付道路、交差点は、左右の安全確認が行いやすいように、両脇に雪山を設けないよう除雪を行った。面積の有る土捨て場は、タイヤショベル、支障物件の多い現場内は、バックホウを使用し用途に合わせて使用機械を選定した。



現場内除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 95】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	幾春別川総合開発事業の内 原石山工事用道路北工区改良工事
施工場所	北海道三笠市
工期	平成12年10月19日～平成14年1月18日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー 3t 級、タイヤショベル 1.3m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	積雪が多いので3mポールで見出しを立てた。必要に応じてシートで覆い袋状にし排雪した。大型シート



人力除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 108】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示
工事種別	道路工事
工事名称	深川留萌自動車道 北竜町清水の沢川橋下部工事
施工場所	北海道雨竜郡北竜町
工期	平成 13 年 5 月 31 日～平成 14 年 3 月 12 日
使用機材 / 機械	除雪スコップ ( ジョンバ ) 除雪用スノーダンプ / プルドーザー D31P ( 6.8t ) バックホウ PC75 ( 7.8t ) バックホウ PC120 ( 11.7t )
現場除雪の工夫・留意点等	道路除雪 - 路肩及び柵等に目印用の棒を立てる。資材等 - できるだけ資材をまとめて置く。



町道恵北 5 線機械除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 112】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示
工事種別	道路工事
工事名称	主要道道静内中札内線静内町千石トンネル新設工事
施工場所	北海道静内郡静内町字高見
工期	平成 11 年 8 月 26 日～平成 14 年 12 月 17 日
使用機材 / 機械	雪はねスコップ、スノーダンプ / モーターグレーダー W=3.1m、ブルドーザー 15t 級、ブルドーザー 6t 級、バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 級、バックホウ 0.4m <sup>3</sup> 級、タイヤショベル 3.1m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	道道、除雪箇所のガードケーブル等に見出しを設置し、除雪作業中の接触防止とした。



道道除雪状況



【現場除雪事例：H13 北海道 124】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道452号芦別市旭町改良工事
施工場所	北海道芦別市
工期	平成13年2月22日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	スコップ / タイヤショベル、バックホウ 0.4m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.7m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	<p>作工物確認のため、見出しポールの設置、塩カリの散布 作工物より、50cm附近までは機械による除雪 50cm以内は人力による除雪                  取除けなかった雪を塩カリ散布にて解かす。 ブルーシートによる養生ブルーシート、ポール、タイヤショベル、バックホウ</p>



除雪状況（機械）

【現場除雪事例：H13 北海道 145】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / F:その他
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道39号 美幌町 報徳舗装工事
施工場所	北海道美幌町報徳
工期	平成13年3月28日～平成14年2月15日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 、タイヤショベル 0.8m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 10t
現場除雪の工夫・留意点等	除雪区間盛土ヶ所のため重機、ダンプ等転落防止のため路肩部分に白赤のポールを配置、トラロープにて路肩部分を明示し除雪作業をした。側道、跨線橋、路盤上の雪、氷をロードヒーターで加熱し融雪した。



【現場除雪事例：H13 岩手県1】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	胆沢ダム付替2 - 2（のそ4）工区改良工事
施工場所	岩手県胆沢郡胆沢町若柳地内
工期	平成13年3月14日～平成14年1月31日
使用機材 / 機械	ホイールローダ FL310-1（1.3m <sup>3</sup> ） バックホウ EX200（0.7m <sup>3</sup> ） ブルドーザーD65EX（18t級）
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事中道路の路肩に赤旗付きポールを立てて、路肩の表示を行い、除雪作業の目印としています。場所に応じた機材の使い分け</p> <p>ホイールローダ - 工事中道路、現場詰所及び現場事務所          バックホウ - 現場内          ブルドーザ - 土捨場</p>

【現場除雪事例：H13 岩手県 6】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	高木道路改良工事
施工場所	岩手県花巻市高木地内
工期	平成 13 年 11 月 22 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / バックホウ 0.45m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.2m <sup>3</sup> 、ホイールローダー 1.2m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工範囲内に除雪した雪が残らない様に施工区域を赤旗で示した。 1 . 普通のバックホウでは除雪効率が悪いので、排土板付きのバックホウを使用した。 2 . 積雪量が多い時は、排土板付きのバックホウでも効率が悪いので、ショベルローダーを使用した。</p>



排土板付バックホウ使用



【現場除雪事例：H13 宮城県 2】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示 / B2:現場機材の活用 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	監査廊連絡通路改良工事
施工場所	宮城県柴田郡川崎町大字小野地内
工期	平成 13 年 12 月 29 日 ~ 平成 14 年 3 月 27 日
使用機材 / 機械	スコップ、竹ホウキ / バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー 3 t 級、ホイールローダー 0.3m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>降雪が予想される時は、予め作業終了前に掘削孔上部にブルーシート等で覆い、雪によって床付面が粗されない様に養生する。機械除雪が可能な場所においては、危険箇所及び障害物等周辺に目印となるものを設置する。融雪によって雪解け水が侵入する恐れのある箇所は、掘削孔周辺に土のうで設置し、侵入を防ぐ。使用する機材については、常時、現場にあるものを使用する。例えば土工事の施工中においては、当現場において、バックホウで雪を収集し、クレーン及びダンプトラックで場外へ搬出する又、土工事施工外においては、積雪量はよっては、必要機械を回送し、対応する。積雪量が少ない場内は常備品であるスコップを用いたスカ除雪を行う。工事車輛出入口及び斜面部分等、スリップ事故の恐れのある箇所では塩カル材を用いて凍結部分を融解させ、事故を防止する。</p>

【現場除雪事例：H13 北海道 139】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道36号札幌市豊平歩道改修工事
施工場所	北海道札幌市豊平区豊平
工期	平成13年10月5日～平成14年3月26日
使用機材 / 機械	ホイールローダー（フルカワ）FL302、0.4m <sup>3</sup> タイヤバックホウ（コマツ）PW1003A、0.2m <sup>3</sup> バックホウ（コマツ）PW20A
現場除雪の工夫・留意点等	作業形態に合わせて、必要箇所のみ排雪を行った。縁石部分の損傷を防ぐため、目印の位置出し、マーキングを行った。バックホウによりケズリ取りを行ったのでスキ刃付きの排雪バケットを使用した。一般車両の出入口付近の排雪が多かったので、排雪箇所と、現況積雪箇所の段差のすりつけを行った。



排雪時積雪寸法（縁石の位置確認）


【現場除雪事例：H13 岩手県 32】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道282号 一本木バイパス3号橋下部工工事
施工場所	岩手県岩手郡滝沢村一本木地内
工期	平成13年10月16日～平成14年3月30日
使用機材 / 機械	ブルドーザーD20、ブルドーザーD60、バックホウ0.35m <sup>3</sup> 、バックホウ0.6m <sup>3</sup> 、ホイロローダー
現場除雪の工夫・留意点等	仮設道路の法高の低い部分においては除雪した雪を路肩外に出しやす いよう路肩表示の杭のみにした。仮設道路下り勾配箇所は車両等のスリッ プ事故のないよう確実な除雪を行うようにするためバックホウの法面バ ケットで行った



下り勾配箇所法面バケットによる除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 135】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B4:シートの活用 / B3:機械（機材）の適切な選定 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市板割沢改良工事
施工場所	北海道札幌市南区豊北
工期	平成13年3月1日～平成14年2月18日
使用機材 / 機械	スコップ等除雪道具 / タイヤショベル、0.7m <sup>3</sup> 級バックホウ、10t積ダンブトラック
現場除雪の工夫・留意点等	支障の無い限り、埋戻し、整地を行い、見出し等を建て重機による作業を容易にする。土砂碎石資材等はブルーシートで囲い、人力での除雪作業を容易にする現場内においては、作業する重機で行い資材置場、運盤路等は除雪専用タイヤショベルを常駐する除雪集積した雪は市、管理、雪捨て場に運搬する現場内除雪時、土砂等が混入しない様気を付けるが下が土砂なので必ず土砂が混入する。雪を分別し雪捨て場に運搬する
	



【現場除雪事例：H13 宮城県 12】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / D2:路面・法面への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 県砂地特28001-001号 江合川下流高水敷整備工事
施工場所	宮城県玉造郡鳴子町大口地内
工期	平成13年9月5日～平成14年3月22日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.45m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	資材等には工事用シートにより覆い直接雪を付着させない様にし、目印（ポール等）を立てておき、資材等の破損を避ける為、人力で行った。搬入路の除雪は0.45m <sup>3</sup> バックホウにより行い、路面を痛めない様、5cm程度積雪を残す様に行った。



資材の養生状況

【現場除雪事例：H13 新潟県 9】

除雪工夫分類	D2:路面・法面への配慮 / A3:除雪範囲の明示
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 治建道路 第23-1-10号 儀明川治水ダム建設(一般)右岸市道付替兼用工区工事
施工場所	新潟県上越市大字向橋地内
工期	平成13年6月20日～平成14年2月22日
使用機材/機械	スコップ、スノーダンプ/ブルドーザーBD-2(4t級)
現場除雪の工夫・留意点等	舗装部の除雪は舗装面を傷めないよう注意し作業した工事用道路(市道)は、敷砂利がしてあるため、掘りすぎにならないよう注意した。路肩部に視線誘導標が入っているため、位置を確認してから作業をするようにした。



工事用道路除雪